

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-181220

(P2006-181220A)

(43) 公開日 平成18年7月13日(2006.7.13)

(51) Int.Cl.

A63F 5/04 (2006.01)

F I

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

A 6 3 F 5/04 5 1 2 X

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2004-379866 (P2004-379866)

(22) 出願日 平成16年12月28日(2004.12.28)

(71) 出願人 000132747

株式会社ソフィア

群馬県桐生市境野町7丁目201番地

(74) 代理人 100098073

弁理士 津久井 照保

(72) 発明者 井置 定男

群馬県桐生市宮本町3-7-28

(72) 発明者 田口 英雄

群馬県桐生市境野町7丁目201番地 株式会社ソフィア内

(54) 【発明の名称】 スロット遊技機

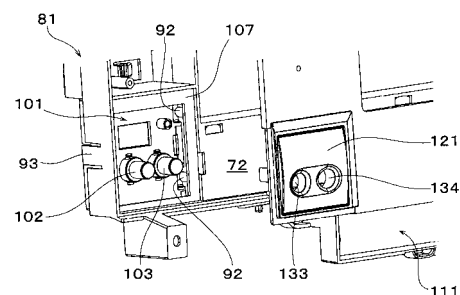
(57) 【要約】

【課題】 前面枠の設置スペースの制約を受けず、操作性に優れ、スロット遊技機的美観をも損ねることのないカードユニットの操作部を備えたスロット遊技機を提供する。

【解決手段】

前面枠の変表示用開口部の裏面側にメインパネルユニットが配設され、メインパネルユニットは、変表示装置が臨む開口窓部が開設されたメインパネルベース81と、メインパネルベース81の前面に装着されると共に、クリア部を有するメインパネル111と、から構成され、メインパネル111は、一部に切欠き部が形成され、切欠き部には、その縁部を前後から挟持するように嵌合する溝部を有する縁飾り体121が備えられ、縁飾り体121の裏面側に、メインパネルベース81に支持された操作ユニット101が配置されると共に、縁飾り体121に開設された貫通口133, 134から操作ユニット101の操作ボタン102, 103を臨ませる。

【選択図】 図8



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

可変表示装置を内部に設けた筐体と、この筐体の前面に開閉可能に取り付けられ、前記可変表示装置の表示部に対応する位置に可変表示用開口部を有する前面枠と、を備えたスロット遊技機において、

前記前面枠の可変表示用開口部の裏面側に、可変表示装置の前記表示部を視認可能なクリア部を有するメインパネルユニットが配設され、

前記メインパネルユニットは、

前記可変表示装置が臨む開口窓部が開設されたメインパネルベースと、

該メインパネルベースの前面に形成された嵌合凹部内に嵌合装着され、前記クリア部を有するメインパネルと、

から構成され、

前記メインパネルは、

一部に切欠き部が形成され、該切欠き部には、その縁部を前後から挟持するように嵌合する溝部を有する縁飾り体が備えられ、

該縁飾り体の裏面側に、前記メインパネルベースに支持された操作ユニットが配置されると共に、前記縁飾り体開設された貫通口から前記操作ユニットの操作ボタンを臨ませたことを特徴とするスロット遊技機。

【請求項 2】

前記操作ユニットは、当該遊技機に併設されたカードユニットを操作する端末操作部であり、前記操作ボタンは前記カードユニットへ入力信号を与えるスイッチボタンからなることを特徴とする請求項 1 に記載のスロット遊技機。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、数字や図柄等の識別情報を視認不能な速度で可変表示する可変表示装置を備え、可変表示が停止した際の識別情報の組み合わせが賞態様を形成したか否かで遊技を行なうスロット遊技機に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来のスロット遊技機は、例えば、特開 2001-314548 号公報（特許文献 1）に開示されているように、筐体の内部に可変表示装置を設け、筐体の前面に開閉可能に取り付けた前面枠（ベースフレーム）の上部に開口部を開設し、この開口部に、ベースフレームとは別体の遊技状況表示用のメインパネルベースを取り付けて塞ぎ、このメインパネルベースに前記可変表示装置が臨む開口窓部を開設しており、このメインパネルベースをベースフレームに取り付ける際に、メインパネルベースと略同一の大きさのクリア板をベースフレームとメインパネルベースとの間に挟んだ状態で取り付けている。

【特許文献 1】特開 2001-314548 号公報

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

近年、このようなスロット遊技機にも、パチンコ遊技機と同様に、プリペイドカード式（CR）のスロットが導入される動向があるが、スロット遊技機のベースフレームには前記可変表示装置の停止ボタンなど、種々の操作ボタンが取り付けられているので、カードユニット操作作用の操作部をもベースフレームに取り付けようとする、設置スペースの関係から操作性が悪くなり、またスロット遊技機的美観を損なう虞れがある。

【0004】

本発明は、上記の事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、前面枠の設置スペースの制約を受けず、操作性に優れ、美観をも損ねることのないカードユニット操作作用の操作部を備えたスロット遊技機を提供することにある。

10

20

30

40

50

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明は上記目的を達成するために提案されたもので、請求項1に記載のものは、可変表示装置を内部に設けた筐体と、この筐体の前面に開閉可能に取り付けられ、前記可変表示装置の表示部に対応する位置に可変表示用開口部を有する前面枠と、を備えたスロット遊技機において、

前記前面枠の可変表示用開口部の裏面側に、可変表示装置の前記表示部を視認可能なクリア部を有するメインパネルユニットが配設され、

前記メインパネルユニットは、

前記可変表示装置が臨む開口窓部が開設されたメインパネルベースと、

該メインパネルベースの前面に形成された嵌合凹部内に嵌合装着され、前記クリア部を有するメインパネルと、

から構成され、

前記メインパネルは、

一部に切欠き部が形成され、該切欠き部には、その縁部を前後から挟持するように嵌合する溝部を有する縁飾り体が備えられ、

該縁飾り体の裏面側に、前記メインパネルベースに支持された操作ユニットが配置されると共に、前記縁飾り体を開設された貫通口から前記操作ユニットの操作ボタンを臨ませたことを特徴とするスロット遊技機である。

【0006】

請求項2に記載のものは、前記操作ユニットは、当該遊技機に併設されたカードユニットを操作する端末操作部であり、前記操作ボタンは前記カードユニットへ入力信号を与えるスイッチボタンからなることを特徴とする請求項1に記載のスロット遊技機である。

【発明の効果】

【0007】

以上説明したように本発明によれば、以下の効果を奏する。

請求項1の発明によれば、メインパネルユニットが、前記可変表示装置が臨む窓部が開設されたメインパネルベースと、クリア部を有してメインパネルベースの前面に形成された嵌合凹部内に嵌合装着されるメインパネルと、から成り、前記メインパネルの一部に切欠き部を形成して、該切欠き部の縁部に縁飾り体を嵌合し、該縁飾り体の裏面側に、前記メインパネルベースに支持された操作ユニットを配置して、その操作ボタンを前記縁飾り体を開設した貫通口から臨ませている。この様に、本発明は、メインパネルの一部に操作ユニットを配するので、前面枠の設置スペースの制約を受けることがない。また、メインパネルの高さ位置に操作ユニットを配するので操作性にも優れ、さらに、操作ユニットの取り付けにネジ等の止着部材を要しないのでスロット遊技機的美観をも損ねることがない。

【0008】

請求項2の発明によれば、前記操作ユニットが、当該遊技機に併設されたカードユニットを操作する端末操作部であり、その操作ボタンは前記カードユニットへ入力信号を与えるスイッチボタンからなるので、スロット遊技機的美観を損ねることなく、カードユニット操作部の操作部をメインパネルの一部に配設することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0009】

以下、本発明を実施するための最良の形態を図面に基づいて説明する。

図1はスロット遊技機の正面図、図2は前面枠を開いた状態のスロット遊技機の斜視図、図3はスロット遊技機の前面枠の裏面図、図4は前面枠からメインパネルベース及びメインパネルを取り外した状態を斜め前方から見た分解斜視図、図5は前面枠からメインパネルベース及びメインパネルを取り外した状態を斜め後方から見た分解斜視図である。

【0010】

本実施形態のスロット遊技機（スロットマシン）1は、図1及び図2に示すように、数

10

20

30

40

50

字や図柄等の識別情報を可変表示する可変表示装置 4 と、この可変表示装置 4 とホッパー 5 を内部に設けた筐体 2 と、この筐体 2 の前面に開閉可能に取り付けられた前面枠 3 と、から概ね構成されている。

【0011】

筐体 2 は、図 2 に示すように、前面が開放され、前側縁が傾斜した台形状の左右側面、底面、上面、及び背面からなる箱体であり、上部が後退するように前面の開放部が少し傾斜して形成されている。そして、この筐体 2 の内部の上半部に可変表示装置 4 が設けられると共に、下半部に賞メダルを排出するホッパー 5 が設けられている。

【0012】

図 2 に示す可変表示装置 4 は、いわゆるドラム式（リール式）であり、筐体 2 内の上下略中央に左右方向に架設した支持材 6 上に、前面が開口したユニットケース 7 を取り付け、このユニットケース 7 の内部に、サーボモータ（パルスモータ）の駆動により回転するリール 9 を立てた状態で 3 つ横に並べて設け、各リール 9 の外周に数字や図柄を表示したフィルムを巻装し、また、各リール 9 の内部には、フィルムを裏側から照らすバックランプ（図示せず）を設け、制御装置により各サーボモータを制御して、それぞれ独立して回転又は停止するように構成されている。この可変表示装置 4 は、フィルムの前方に突出した部分（例えば、識別情報の上下 3 つ分の範囲）が表示部 11 として機能し、この表示部 11 が図 4 及び図 5 に示す前面枠 3 の可変表示用開口部 12 に臨んでいる。なお、本実施形態では、可変表示装置 4 として機械的に駆動するドラム式（リール式）のものを装備しているが、例えば、CRT や液晶表示装置等の画像表示装置により数字や図柄をソフト的に表示するように構成してもよい。

【0013】

上記筐体 2 の左内側縁部には、前面枠 3 を前面に支持して開閉するためのヒンジ部 13 が上下 2 箇所に取り付けられており、本実施形態では、前面枠 3 は上部フレーム 21 と下部フレーム 22 から形成されている。上部フレーム 21 の前面側にはプラスチックを射出成型することにより形成された略四角形の装飾部材 23 が少し前方に隆出する状態で装着され、図 2 に示すように、その裏面中央には液晶表示装置 24 が配設され、その上部の左右両側にスピーカー 25 が配設されている。したがって、上記装飾部材 23 において、上記スピーカー 25 に相当する部位にはスピーカー用開口部 26 が開設され、少なくとも液晶表示装置 24 の前面部分は表示画像を視認可能な無色又は有色透明のクリア部 27 として形成されている（図 4）。

【0014】

下部フレーム 22 の上半部分には、図 4 及び図 5 に示すように、上記前面枠 3 の可変表示用開口部 12 が開設されており、この可変表示用開口部 12 の裏面側にはメインパネルユニット（表示パネルユニット）71 が配設されている。このメインパネルユニット 71 の構造については後で詳細に説明する。

【0015】

下部フレーム 22 の下半部分の前面側には、プラスチックを射出成型することにより形成された略四角形の棚部 31 が少し前方に隆出する状態で形成され、その上端面にはベットボタン 32 と上方へ起立したメダル投入口 33 が設けられ、前面上部にはスタートスイッチ 34 や各リール 9 に対応する 3 つのストップボタン 35 が設けられている。これら操作部の右側には前面枠 3 を筐体 2 に固定して施錠するシリンダ錠 41 が取り付けられ、中央に長方形の装飾パネル 42 を介して、下端近傍の略中央には賞メダル排出口 43 を開設し、その前面側下方に下皿 44 を設け、その左側に灰皿 45 を設けている。上記装飾パネル 42 は、透光性の板であって、例えば、樹木を立体的に模した装飾が施されており、その裏面には、例えば、装飾発光体としての蛍光管が設けられており、その下部の上記賞メダル排出口 43 の両側にはスピーカー用開口部 46 が開設されている。また、下部フレーム 22 の下半部分の裏面には、上部にメダル判別装置 51 を有し、該メダル判別装置 51 により不適合と判断されたメダルを上記賞メダル排出口 43 へと導くメダル流路カバー 52 が設けられており、上記スピーカー用開口部 46 の裏面にはスピーカー（図示せず）

を収納するスピーカー収納部 53 が設けられている。

【0016】

そして、本実施形態のスロット遊技機 1 の一側部（図 1 では左側部）には、このスロット遊技機 1 と対にして縦長直方体状のカードユニット 61 が併設されており、その上下方向の略中央部にはプリペイド式カードを挿入するカード挿入口 62 が設けられている。このカードユニット 61 の操作部については、後で詳細に説明する。

【0017】

次に、上記メインパネルユニット 71 の具体的な構造について説明する。図 6 はメインパネルベース、メインパネル及び操作ユニットの分解斜視図、図 7 は操作ユニットを備えたメインパネルベースの裏面図、図 8 はカードユニットの操作部の分解斜視図、図 9 はメインパネルユニットの正面図、図 10 (a) は縁飾り本体及び縁飾り嵌合部材の分解斜視図、(b) は縁飾り体の斜視図、図 11 はメインパネル及び縁飾り体の分解斜視図、図 12 は縁飾り体の取り付け状態の正面図、図 13 は縁飾り体の取り付け構造を示す図 12 の A-A 線矢視断面図である。

【0018】

メインパネルユニット 71 は、図 6 に示すように、上記可変表示装置 4 が臨む開口窓部 82 が開設されたメインパネルベース 81 と、該メインパネルベース 81 の前面に装着され、上記可変表示装置 4 を視認可能なクリア部 112 を有するメインパネル 111 と、から構成されている。

【0019】

メインパネルベース 81 は、中央部に上記可変表示装置 4 が臨む長形状の開口窓部 82 を開設すると共に前面にはメインパネル 111 を前方から嵌合装着する嵌合凹部 72 を略全面に形成した矩形額縁状の枠体であり、嵌合凹部 72 の底面の一部となる下辺部 83 には、遊技状況表示器として、左側から順にベアアウト表示器 84、ゲームカウント表示器 85、クレジット表示器 86 が設けられ、7 セグメント LED 表示されるように成っている。このメインパネルベース 81 は、前述したように、前面枠 3 の可変表示用開口部 12 の裏面側に取り付けられるが、上端部にはネジ等の止着部材を止着する止着孔を有する止着片 87 が設けられており、下端部の左右両側には上記可変表示用開口部 12 の裏面側縁部に形成した挿着凹部に挿着される前方へ突出した挿着部 88 が設けられている。また、メインパネルベース 81 の右側辺前面には、例えば、樹木の図柄装飾 89 が施されており、左下隅部には上記カードユニット 61 の端末操作部としての操作ユニット 101 を挿着支持する挿着開口部 91 が開設されている。図 6、図 8 及び図 13 に示すように、この挿着開口部 91 の右側部には、上記操作ユニット 101 の右側部分を固定するボス 92 が後向きに設けられると共に、左側部には、上記操作ユニット 101 の左側部分を左側部後方において引っ掛けて支持する左支持片 93 が設けられており、この左支持片 93 は上記挿着開口部 91 の左側部の中間部から後方へ向けて突き出した可撓性を有する帯状のスナップ片であり、その先端部はテーパ部 95 と係合部 96 とを有する三角形の頭部 94 として形成されている。また、挿着開口部 91 の前面開口部分の上縁部分および内側部分には、図 8 に示すように、壁部 107 を倒 L 字状に形成してある。

【0020】

上記操作ユニット 101 は、上記カードユニット 61 を操作する端末操作部であって、その本体は直方体状の外観を呈しており、前面の略中央には、カードユニット 61 へ入力信号を与えるスイッチの操作ボタン 102、103 が左右に並設され、いずれか一方が遊技媒体貸出スイッチボタンとして機能し、他方がカード返却スイッチボタンとして機能する。

【0021】

メインパネル 111 は、前述したように、メインパネルベース 81 の前面に形成した嵌合凹部 72 内に前方から装着される長方形の平板であって、本実施形態では、パネル全体が無色又は有色透明の亚克力製のクリア板により構成され、クリア部として残す以外の部分にはシルク印刷により装飾が施されている。即ち、図 6 に示すように、メインパネル

10

20

30

40

50

１１１の中央部には、上記可変表示装置４を視認可能な長方形のクリア部１１２が形成されている。また、このクリア部１１２の右側部分にも、上記メインパネルベース８１の図柄装飾８９を視認可能な装飾用クリア部１１３が形成され、さらに、上記クリア部１１２の下部には、上記ペイアウト表示器８４、ゲームカウント表示器８５及びクレジット表示器８６の７セグメントＬＥＤ表示を視認可能なＬＥＤ用クリア部１１４が形成されている。さらに図１１に示すように、このメインパネル１１１の一部、本実施形態では左下隅部には、四角形の切欠き部１１５が形成されており、この切欠き部１１５には縁飾り体１２１が装着される。

【００２２】

この縁飾り体１２１は、図１０（ａ）に示すように、上記操作ユニット１０１の前面を覆う縁飾り本体１３１と、この縁飾り本体１３１を囲繞するように設けられる縁飾り嵌合部材１４１と、から成っている。縁飾り本体１３１は、前方へ向けて突出した略四角形のカバー部材であって、その前面には長孔凹部１３２が形成され、この長孔凹部１３２内には上記操作ユニット１０１の操作ボタン１０２，１０３を臨ませる２つの円形の貫通口１３３，１３４が形成されている。また、この縁飾り本体１３１の上辺部及び右辺部には張出し部１３５，１３６が形成されており（図１３参照）、各張出し部１３５，１３６の基端の略中央部にはスリット状の挿着孔１３７が形成されている。一方、縁飾り嵌合部材１４１は、矩形額縁状の枠体であって、図１０（ａ），（ｂ）及び図１３に示すように、上記切欠き部１１５の倒Ｌ字状の縁部に当接する上辺部１４２及び右辺部１４５の前面側はそれぞれ上方及び右方へ張り出しており、上記縁飾り本体１３１の張出し部１３５，１３６と共に、該Ｌ字状の縁部を前後から挟持するように嵌合する溝部１４６，１４７を構成する。また、この縁飾り嵌合部材１４１の上辺部１４２及び右辺部１４５の略中央部には、上記縁飾り本体１３１の挿着孔１３７に挿入される爪状の挿着部１４８，１４９が後方へ向けて突設され、下辺部１４３及び左辺部１４４の略中央部には、上記縁飾り本体１３１の下面及び左右側面を把持する爪状の支持部１５１，１５２が後方へ向けて突設されている。さらに、縁飾り嵌合部材１４１の左辺部１４４には、厚さ方向の略中央部に直状の突起部１５３が形成されている。

【００２３】

次に、図７から図１３を用いて、上記メインパネルユニット７１の取り付け手順について説明する。

まず、メインパネルベース８１の挿着開口部９１に、操作ユニット１０１を挿着支持する。図１３に示すように、操作ユニット１０１は、左係合段部１０６を上記左支持片９３の頭部９４の係合部９６に係合させると共に、操作ユニット１０１の背面板９７の一側（左係合段部１０６とは反対側）に開設したネジ孔１０４内にネジ（図示せず）を挿入し、このネジを上記メインパネルベース８１の挿着開口部９１に設けたボス９２の後端に締め込んで取り付けられる。

【００２４】

次に、図１０に示すように、縁飾り本体１３１と縁飾り嵌合部材１４１とを組み合わせ、縁飾り体１２１を組み立てる。これら縁飾り本体１３１及び縁飾り嵌合部材１４１は、上記縁飾り嵌合部材１４１の挿着部１４８，１４９を上記縁飾り本体１３１の挿着孔１３７に挿着すると共に、縁飾り嵌合部材１４１の支持部１５１，１５２で縁飾り本体１３１の下面及び左側面を把持することにより、縁飾り体１２１として組み立てられる。さらに、図１１に示すように、上記メインパネル１１１の切欠き部１１５のＬ字状の縁部に、組み立てられた縁飾り体１２１の溝部１４６，１４７を前後から挟持するように嵌合させることにより、図８に示すように、縁飾り体１２１をメインパネル１１１の切欠き部１１５に装着する。

【００２５】

そして、図８及び図９に示すように、メインパネルベース８１の前面の嵌合凹部７２内にメインパネル１１１を前方から嵌合装着して、メインパネルユニット７１を組み立てる。その際、上記縁飾り体１２１の張出し部１３５，１３６がメインパネルベース８１の壁

部 1 0 7 に当接して後退位置が規制され、また、左方向に関しては縁飾り体 1 2 1 の左側縁の突起部 1 5 3 が嵌合凹部 7 2 の縦方向の内面に、下方向に関しては縁飾り体 1 2 1 の下縁が嵌合凹部 7 2 の水平方向の内面に当接して、縁飾り体 1 2 1 が切欠き部 1 1 5 から外れる方向の移動が規制されるように成っている。また、操作ユニット 1 0 1 の操作ボタン 1 0 2 , 1 0 3 は、上記縁飾り体 1 2 1 の貫通口 1 3 3 , 1 3 4 内に遊嵌されて前方に臨むことになる。

【 0 0 2 6 】

最後に、図 9 に示すように組み立てたメインパネルユニット 7 1 を、上記メインパネルベース 8 1 の止着片 8 7 及び前方へ突出した挿着部 8 8 を用いて、上記前面枠 3 の可変表示用開口部 1 2 の裏面側に配設する。

10

【 0 0 2 7 】

以上説明したように、本実施形態のスロット遊技機 1 によれば、メインパネル 1 1 1 の左下隅部に操作ユニット 1 0 1 を配しているのので、前面枠 3 の設置スペースの制約を受けることがない。また、遊技者が操作し易い高さ位置に操作ユニット 1 0 1 を配しているのので、操作性にも優れている。さらに、操作ユニット 1 0 1 の取り付けには、ネジ等の止着部材を要せず、上記操作ユニット 1 0 1 の前面は縁飾り体 1 2 1 により覆われているので、スロット遊技機 1 の美観をも損ねることもない。このように本実施形態によれば、スロット遊技機 1 の美観を損ねることなく、カードユニット 6 1 の操作部をメインパネル 1 1 1 の一部に配設することができる。

【 0 0 2 8 】

20

また、図 1 4 は、メインパネルへの縁飾り体の装着方法の他の例を示す分解斜視図である。図示するように、第 2 の取り付け手順は、縁飾り体 1 2 1 を組み立ててからメインパネル 1 1 1 の切欠き部 1 1 5 に装着するのではなく、矢印に示すように、メインパネル 1 1 1 の切欠き部 1 1 5 に、その倒立 L 字状の縁部を前後から挟むように、縁飾り本体 1 3 1 と縁飾り嵌合部材 1 4 1 とを組み合わせ、図 1 3 に示したように、上記溝部 1 4 6 , 1 4 7 で上記 L 字状の縁部を挟持するものである。このようにしてメインパネル 1 1 1 の切欠き部 1 1 5 に縁飾り体 1 2 1 を装着することにより、縁飾り体 1 2 1 を装着が容易となる。

【 0 0 2 9 】

なお、上記した実施の形態は全ての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明は、上記した説明に限らず特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味及び範囲内での全ての変更が含まれるものである。

30

【図面の簡単な説明】

【 0 0 3 0 】

【図 1】スロット遊技機の正面図である。

【図 2】前面枠を開いた状態のスロット遊技機の斜視図である。

【図 3】スロット遊技機の前面枠の裏面図である。

【図 4】前面枠からメインパネルベース及びメインパネルを取り外した状態を斜め前方から見た分解斜視図である。

【図 5】前面枠からメインパネルベース及びメインパネルを取り外した状態を斜め後方から見た分解斜視図である。

40

【図 6】メインパネルベース、メインパネル及び操作ユニットの分解斜視図である。

【図 7】操作ユニットを備えたメインパネルベースの裏面図である。

【図 8】カードユニットの操作部の分解斜視図である。

【図 9】メインパネルユニットの正面図である。

【図 1 0】(a) は縁飾り本体及び縁飾り嵌合部材の分解斜視図、(b) は縁飾り体の斜視図である。

【図 1 1】メインパネル及び縁飾り体の分解斜視図である。

【図 1 2】縁飾り体の取り付け状態の正面図である。

【図 1 3】縁飾り体の取り付け構造を示す図 1 2 の A - A 線矢視断面図である。

50

【図 1 4】メインパネルへの縁飾り体の装着方法の他の例を示す分解斜視図である。

【符号の説明】

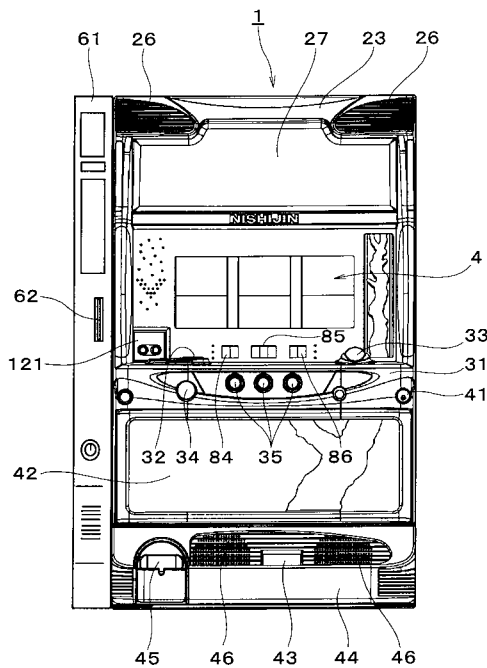
【 0 0 3 1 】

- 1 スロット遊技機
- 2 筐体
- 3 前面枠
- 4 可変表示装置
- 1 1 表示部
- 1 2 可変表示用開口部
- 6 1 カードユニット
- 6 2 カード挿入口
- 7 1 メインパネルユニット
- 8 1 メインパネルベース
- 8 2 開口窓部
- 1 0 1 操作ユニット
- 1 0 2 , 1 0 3 操作ボタン
- 1 1 1 メインパネル
- 1 1 2 クリア部
- 1 1 5 切欠き部
- 1 2 1 縁飾り体
- 1 3 1 縁飾り本体
- 1 3 3 , 1 3 4 貫通口
- 1 3 5 , 1 3 6 張出し部
- 1 4 1 縁飾り嵌合部材
- 1 4 6 , 1 4 7 溝部

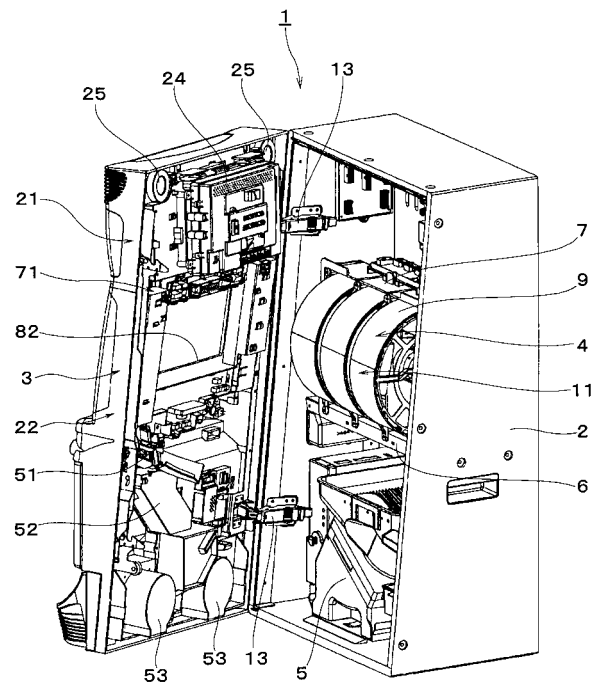
10

20

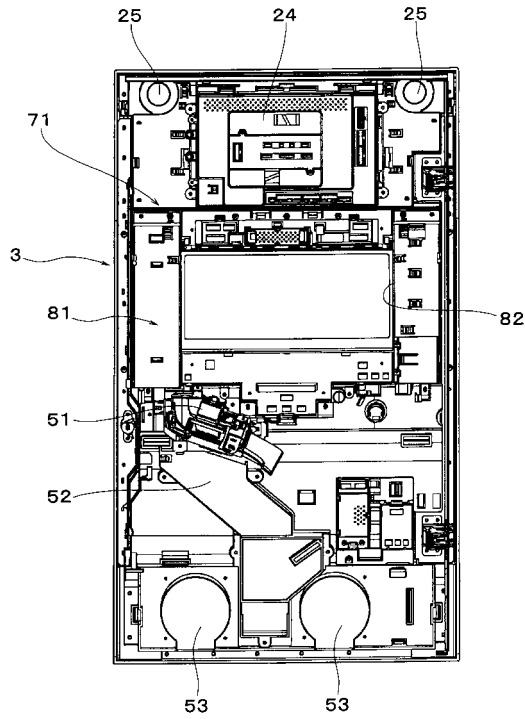
【図 1】



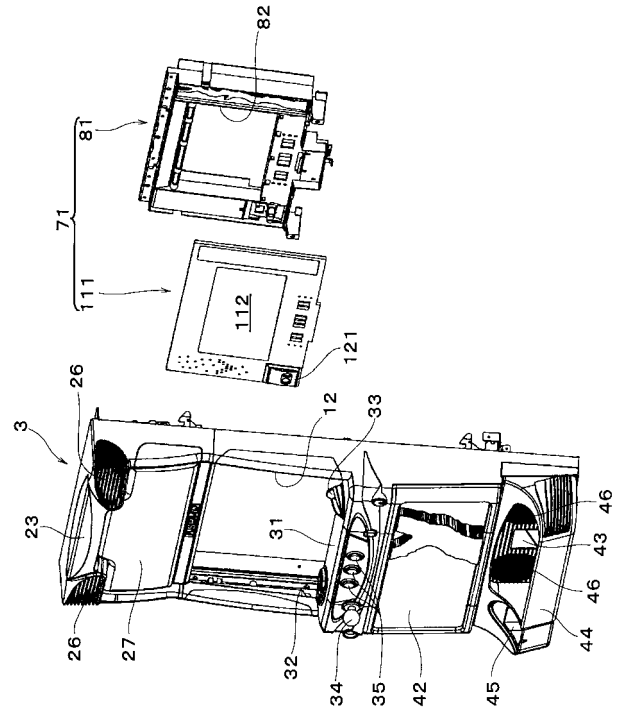
【図 2】



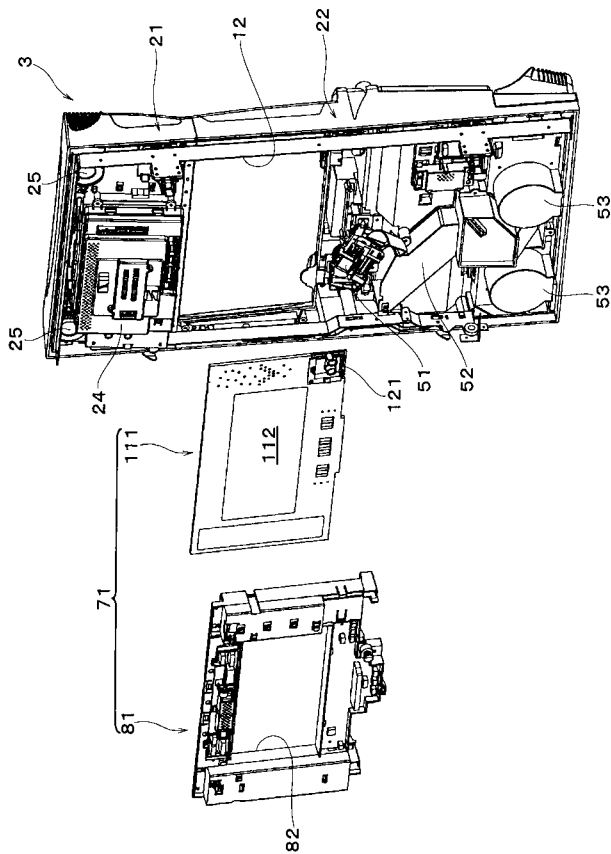
【図 3】



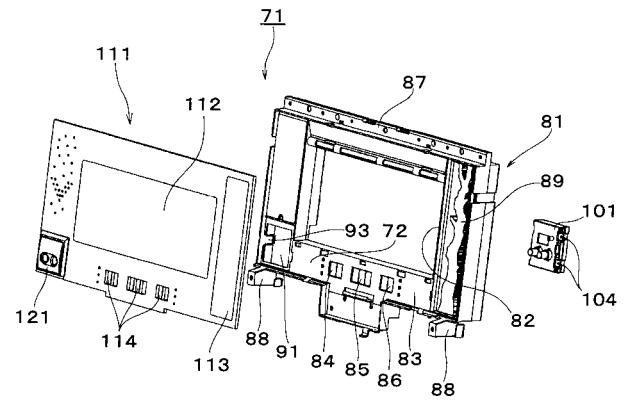
【図 4】



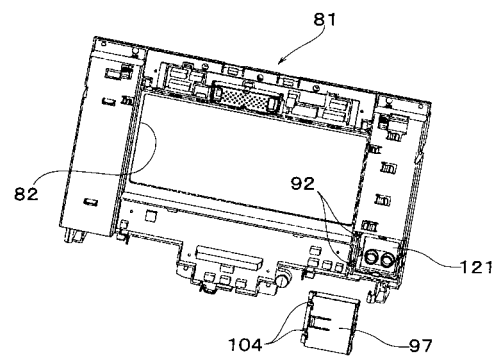
【図 5】



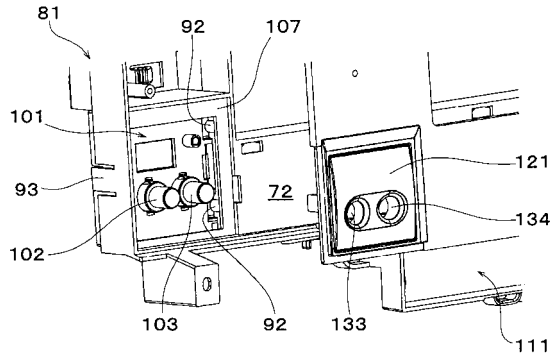
【図 6】



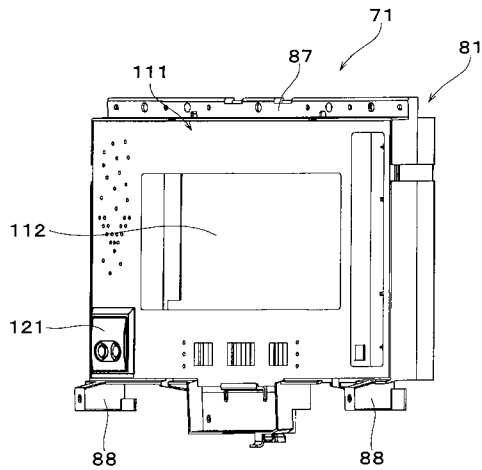
【図 7】



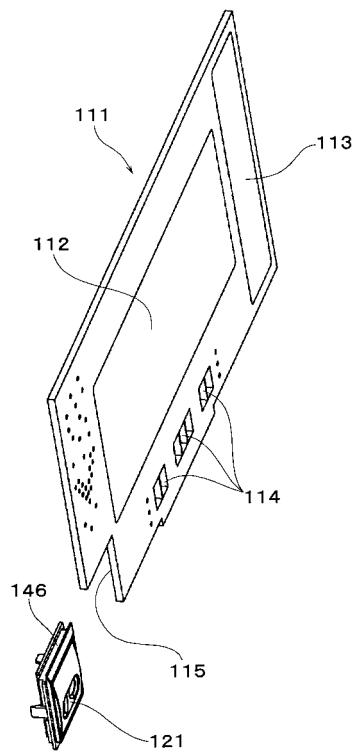
【図 8】



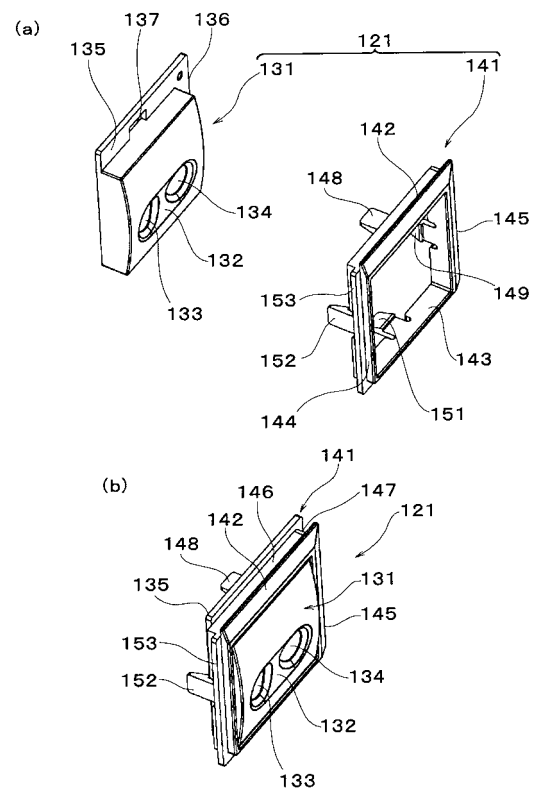
【図 9】



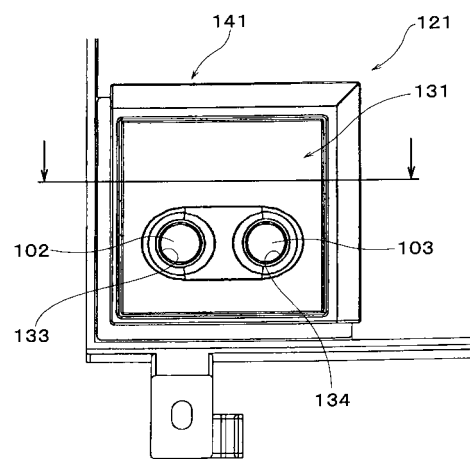
【図 11】



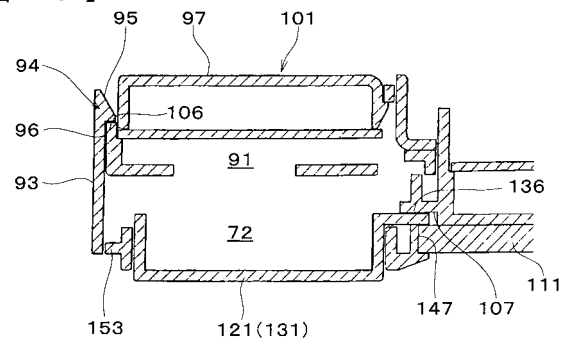
【図 10】



【図 12】



【図 13】



【図 14】

